

【学習指導案】

1. 単元

テーマ「地震から命を守る」

本教材は展開部分を4つの項目で構成し作成しています。地域特性や学習状況、深めたい内容など、目的に応じて、①各項目単体での授業、②各項目より部分的に選択し組み合わせる授業を構成することができます。

導入[共通]



展開[選択式]

項目1. 『地震発生のメカニズム』

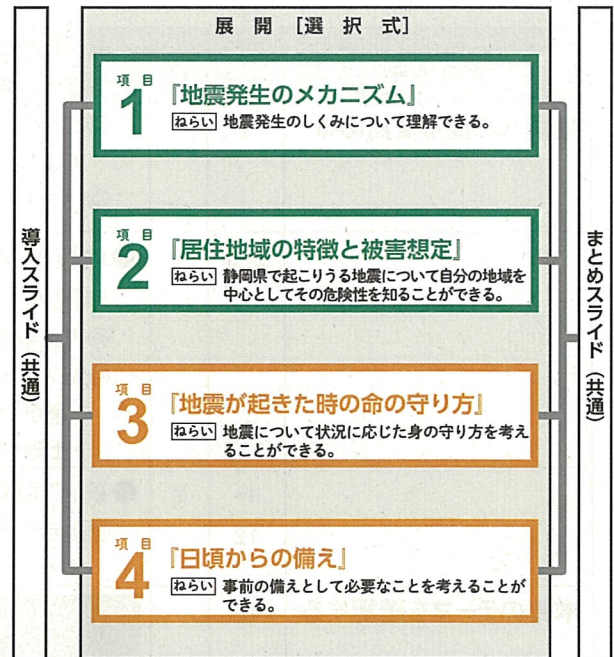
項目2. 『居住地域の特徴と被害想定』

項目3. 『地震が起きた時の命の守り方』

項目4. 『日頃からの備え』



まとめ[共通]



2. 本時の学習指導

(1) ねらい

項目1. 『地震発生のメカニズム』

→地震発生のしくみについて理解できる。

項目2. 『居住地域の特徴と被害想定』

→静岡県で起こりうる地震について自分の地域を中心としてその危険性を知ることができる。

項目3. 『地震が起きた時の命の守り方』

→地震について状況に応じた身の守り方を考えることができる。

項目4. 『日頃からの備え』

→事前の備えとして必要なことを考えることができる。

(2) 準備・資料等

静岡県防災学習 (地震)

タブレット端末

プロジェクター・スクリーン

ワークシート

レーザーポインター (もしくは指し棒)

※タブレット利用時には操作説明を行う ※タブレットはグループごとに操作する

※被害写真、災害動画、緊急地震速報等の提示の際は、児童の実態に応じ、児童に精神的な負担をかけることのないように十分配慮する

【学習指導案】

(3) 学習指導案

[共通]導入・まとめ

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
導入	地震への関心を高める	1		◎グループ活動のため、事前に机・椅子を動かしておくよう伝える。 ◎ワークシートを配る。	
		2~3	3	●地震が起きると町がどうなるかワークシートに記入させる。 ◎児童数名に答えさせる。 ◎記入させずに口答で答えさせてもよい。 ・家がくずれれる・物が落ちてくる・停電になる ・土砂くずれが起こる・津波が起こる など	☆地震が起きたらどうなるか思い起こすことができる。 [思考・判断・表現]
		4~12	2	●被害写真、災害動画を提示する。 ◎提示する写真や動画は、地域の特徴にあわせて選択する。	
	本時のテーマを確認する	13		地震から命を守る	
展開	<p>選択式(30分程度) 展開は、次ページより項目ごとに掲載しています。 地域特性や学習状況、深めたい内容など目的に応じて活用してください。 ①各項目単体での授業 ②各項目より部分的に選択し組み合わせて授業</p>				
まとめ	本時のふりかえりをする	104~106	2	●地震から命を守るために大事なことを提示し、本時の内容をふりかえらせる。 ◎本時の内容を思い起こさせながら、児童の反応を見て進める。	
		107~108	2	●自然との付き合い方について理解を促すよう静岡県の恵みと災いについての写真を提示する。 ◎静岡県の良いところを児童に答えさせてもよい。 ◎児童が地域を嫌いにならないよう、災い部分のみを強調しないよう配慮する。	
	ワークシートへ記入する	109~110	5	●本時のふりかえりをワークシートに記入させる。 ◎児童数名に答えさせる。 ・部屋の中を片付けておこうと思った。 ・家族の集合場所を決めておきたい。	☆地震の危険を理解したうえで、日常生活でどんなことに備えたらよいか考えることができる。 [知識及び技能]
	授業者からのまとめ	111	1	●今日学習したことやワークシートに記入したことに積極的に取り組んでいってほしいと伝える。	

[選択式]展開

1.地震発生メカニズム

【ねらい】

地震発生のしくみについて理解できる。

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
導入	共通(5分程度) 導入は、2ページに掲載				
展開	本時のねらいを確認する	14		地震はなぜ起きるの？	
	地震発生のしくみについて知る	15		●プレートについて説明する。	
		16		ICT活用(タブレット)	☆地震発生箇所には共通点があることに気付くことができている。 [思考・判断・表現]
				●過去に地震が起きた箇所を調べさせる。 ●どんなところで地震が起きていることが多いか答えさせる。 ・プレートの境目 ◎児童から回答が得られないようなら、教師が提示してもよい。	
		17		●地震が起きる原因について説明する。	
	18		●日本周辺で地震が多い理由を説明する。		
	地震のメカニズムを知る	19~23		ICT活用(タブレット)	
				●地震が起きているのはどこか答えさせる。 ●正答を示し、さらに起きる場所によって原因がちがうことを説明する。 ◎わかりやすいようにイラストを用いて説明する。	
		24~25		ICT活用(タブレット)	
				●津波はどこで起きた地震で起こりやすいか答えさせる。 ●正答を示し、津波が起こるメカニズムについて説明する。 ◎わかりやすいようにイラストを用いて説明する。	
学習の確認をする	26~27		●「地震はなぜ起きるの？」についてワークシートに記入させる。 ◎その場で児童に答えさせてもよい。	☆ワークシートに正答を記入できている。 [知識及び技能]	
	28~29		●「地震が起こる場所は？」についてワークシートに記入させる。 ◎その場で児童に答えさせてもよい。	☆ワークシートに正答を記入できている。 [知識及び技能]	
まとめ	共通(10分程度) まとめは、2ページに掲載				

[選択式]展開

2. 居住地域の特徴と被害想定

【ねらい】

静岡県で起こりうる地震について自分の地域を中心としてその危険性を知ることができる。

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導 (●)・支援 (◎) 予想される反応 (・)	評価の観点 評価 (☆)
導入	共通(5分程度) 導入は、2ページに掲載				
展開	本時のねらいを確認する	30		地震が起きたらどうなる？	
	静岡県で起こりうる地震について知る	31		●静岡県で起きた大きな地震の歴史について提示する。	
		32		●大きな地震（南海トラフ巨大地震）の想定が発表されていることを提示する。	
		33		●震度とは何かを説明する。	
		34		●震度と人の体感・行動について提示する。	
		35		●静岡県で大きな地震（南海トラフ巨大地震）のときに想定されている震度を提示する。 ◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。	
	36		●起震車による震度7の揺れの体験動画を提示する。		
地域の地震の危険性を調べる	37~ 39		ICT活用(タブレット)	☆タブレットを使用し、意欲的に探究しようとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]	
学習の確認をする	40~ 41		●「震度とは？」についてワークシートに記入させる。 ◎その場で児童に答えさせてもよい。	☆ワークシートに正答を記入できている。 [知識及び技能]	
まとめ	共通(10分程度) まとめは、2ページに掲載				

[選択式]展開

3.地震が起きた時の命の守り方

【ねらい】

地震について状況に応じた身の守り方を考えることができる。

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
導入	共通(5分程度) 導入は、2ページに掲載				
展開	本時のねらいを確認する	42~	43	地震から身を守るには？	
	地震が起きたときの身の守り方を考えよう 【学校】	44~	47	ICT活用(タブレット) ●地震のとき危ない場所を示させる。選んだ理由も考えさせる。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ●回答例を示し、危険な場所を日頃から確認しておくことが大切だと伝える。 ◎実際の被害写真を提示する。(地震の被害にあった校舎の様子 [平成7年阪神・淡路大震災])	☆グループで話し合いながら、意欲的に取り組もうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]
		48~	49	ICT活用(タブレット) ●地震から身を守るために良いと思う行動を選ばせる。選んだ理由も考えさせる。 ◎答えは1つとは限らないことを伝える。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ●正答を示し、状況によって身の守り方が違うことを気づかせる。	☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。 [思考・判断・表現] [知識及び技能]
	地震が起きたときの身の守り方を考えよう 【通学路】	50~	54	ICT活用(タブレット) ●地震のとき危ない場所を示させる。選んだ理由も考えさせる。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ●回答例を示し、危険な場所を日頃から確認しておくことが大切だと伝える。 ◎実際の被害写真を提示する。(地震の被害にあった道の様子、地震によりブロック塀が倒れてしまった様子 [平成7年阪神・淡路大震災])	☆グループで話し合いながら、意欲的に取り組もうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]
		55~	57	ICT活用(タブレット) ●地震から身を守るために良いと思う行動を選ばせる。選んだ理由も考えさせる。 ◎答えは1つとは限らないことを伝える。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ●正答を示し、状況によって身の守り方が違うことを気づかせる。 ◎実際の被害写真を提示する。(地震で橋が落ちてしまった様子)	☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。 [思考・判断・表現] [知識及び技能]
	地震が起きたときの身の守り方を考えよう	58~	61	ICT活用(タブレット) ●地震のとき危ない場所を示させる。選んだ理由も考えさせる。	☆グループで話し合いながら、意欲的に取り組もうとしている。

【学習指導案】

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
	【家】			<p>由も考えさせる。</p> <p>◎何グループかに、理由も含め答えさせる。</p> <p>●回答例を示し、危険な場所を日頃から確認しておくことが大切だと伝える。</p> <p>◎実際の被害写真を提示する。(地震の被害にあった住宅の部屋の様子 [平成7年阪神・淡路大震災])</p>	<p>的に取り組もうとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p>
展開		62~ 63		<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●地震から身を守るために良いと思う行動を選ばせる。選んだ理由も考えさせる。</p> <p>◎答えは1つとは限らないことを伝える。</p> <p>◎何グループかに、理由も含め答えさせる。</p> <p>●正答を示し、状況によって身の守り方が違うことを気づかせる。</p>	<p>☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。</p> <p>[思考・判断・表現] [知識及び技能]</p>
	緊急地震速報について 知ろう	64~ 66		<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●聞こえた音が何の音か回答を選ばせる。</p> <p>◎場合によっては児童にストレスを与える可能性があるため、担当教員に確認をとる。</p> <p>●正答を示し、テレビの緊急地震速報の音だと説明する。</p> <p>◎携帯電話の緊急地震速報の音は違うことを補足する。</p> <p>●緊急地震速報のしくみについて説明する。</p> <p>◎地震計がどこにあるか紹介してもよい。</p>	
		67~ 68		<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●緊急地震速報は地震で揺れる前に必ず受け取ることでできる情報か回答を選ばせる。</p> <p>●正答を示し、緊急地震速報を受け取る前に地震が起こるかもしれない場合があることを説明する。</p>	
	地震から命を守る	69~ 70		<p>●地震から命を守るために大切なことを提示する。</p> <p>●いざという時に慌てないためにも、日頃から対策しておくことが大切であることを伝える。</p>	
	学習の確認をする	71~ 72		<p>●「地震から命を守るには？」についてワークシートに記入させる。</p> <p>◎その場で児童に答えさせてもよい。</p>	<p>☆ワークシートに正答を記入できている。</p> <p>[知識及び技能]</p>
	地震が起きたときの身の 守り方を考えよう 【海の近く】	73~ 80		<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●海の近くで大きな地震が起きたときに良いと思う行動を選ばせる。選んだ理由も考えさせる。</p> <p>◎何グループかに、理由も含め答えさせる。</p> <p>●正答を示し、それ以外の回答がなぜ誤答なのかを説明する。</p>	<p>☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。</p> <p>[思考・判断・表現] [知識及び技能]</p>
		81		<p>●南海トラフ巨大地震によって、静岡県にやっ</p>	

【学習指導案】

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
				て来ると想定されている津波の高さを提示する。 ◎該当する地域の想定を児童に確認させてもよい。 ◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。	
展 開		82		●南海トラフ巨大地震によって、海岸に津波がやって来るまでの想定されている時間を提示する。 ◎該当する地域の想定を児童に確認させてもよい。 ◎津波はあっという間にやって来ることと、やって来るのを見てから避難を始めたのでは逃げられないことをしっかりおさえる。 ◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。	
		83~ 84		ICT 活用(タブレット) ●具体的な避難場所について調べさせる。 内蔵地図コンテンツ又は「静岡県総合防災アプリ」「静岡県防災」 ◎避難経路にある危険な箇所も確認させてもよい。 ※機種によっては静岡県総合防災アプリが使用できない場合があります。	☆タブレットを使用し、自宅周辺の避難場所を見つけることができる。 [知識及び技能]
	学習の確認をする	85~ 86		●「海の近くにいたときに地震が起きたら？」についてワークシートに記入させる。 ◎その場で児童に答えさせてもよい。	☆ワークシートに正答を記入できている [知識及び技能]
ま と め	共通(10分程度) まとめは、2ページに掲載				

[選択式]展開

4. 日頃からの備え

【ねらい】

事前の備えとして必要なことを考えることができる。

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導 (●)・支援 (◎) 予想される反応 (・)	評価の観点 評価 (☆)
導入	共通(5分程度) 導入は、2ページに掲載				
展開	本時のねらいを確認する	87		日ごろからどんなことを備えたらよい？	
	室内の備えについて考える	88~90		ICT活用(タブレット) ●寝る場所として安全な場所を示させ、選んだ理由も考えさせる。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ●回答例を示し、家具が倒れてきたり、物が落ちてきたりしない場所を確保することが大切だと伝える。	☆状況を想像し、どう備えておけばよいかを考えることができている。 [思考・判断・表現]
		91		●寝る場所に限らず、自宅の中で地震のとき危険な場所を事前に確認しておくことが大切だと伝える。	
		92		●家具の配置換えや転倒防止について説明し、自分の家はどうなっているか家に帰ったら確認するよう促す。	
		93		●家の耐震化について説明し、自分の家はどうなっているか家に帰ったら確認するよう促す。	
	備蓄品について考える	94~95		●電気・ガス・水道がすべて使えない中で何日間か過ごすことになった場合、何を備えておけばよいかワークシートに記入させる。必要だと思った理由も考えさせる。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ◎意見交換により、いろいろな考えがあることに気づかせる。 ・水・食べ物・懐中電灯 など	☆状況を想像し、何を備えておけばよいかを考えることができている。 [思考・判断・表現]
	96		●備蓄品の例を提示し、備蓄するものは、家族みんなで考え、準備しておくことが大切だと伝える。		

【学習指導案】

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導(●)・支援(◎) 予想される反応(・)	評価の観点 評価(☆)
	非常用持出袋について考える	97~ 99		<p style="text-align: center;">ICT活用(タブレット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●非常用持出袋に入れておいたほうが良いと思うものを5つ選ばせる。選んだ理由も考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◎何グループかに、選んだ理由を答えさせる。 ◎意見交換により、いろいろな考えがあることに気づかせる。 ●回答結果を示し、人によって必要だと思うものは様々であるということに気づかせる。 	☆状況を想像し、何を備えておけばよいかを考えることができている。 [思考・判断・表現]
		100		●非常用持出品を準備していないと困ることを提示し、事前に準備しておくこと、こまめに中身を確認しておくことが大事だと伝える。	
		101		●非常持出品の例を提示し、家族みんなで考え、準備しておくことが大切だと伝える。	
展開	学習の確認をする	102 ~ 103		<ul style="list-style-type: none"> ●「日ごろからどんなことを備えておいた方がよいでしょうか？」についてワークシートに記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ◎児童に答えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・水や食料を準備しておく・家の中を片付けておく など ●回答例を提示し、事前の備えが大切だということを伝える。 	☆学んだことを生かして、ワークシートに自分の考えを記入できている。 [知識及び技能]
まとめ	<p>共通(10分程度) まとめは、2ページに掲載</p>				

